

じゅん菜池緑地



# 一般質問

9月定例会では、20人の議員が一般質問を行いました。質問の持ち時間は答弁を含めて1人60分です。

ここでは紙面の都合上、1人1項目を選び質問・答弁を要約し、分野ごとにまとめて掲載しました。

※「市民の声」＝市民の声を届ける会

## 公園・緑地

### 江戸川河川敷

#### カキ殻の放置問題 市の対応は 河川管理者等と具体策協議していく

西村 敦議員（公明党）

江戸川の河川敷におけるカキ殻の放置問題はテレビでも報じられたが、カキ殻を捨てる行為自体が不法と

考える上、現実問題として子どもが怪我をしたり、環境や景観の面でも大きな問題がある。また、妙典河川敷緑地ではバーベキュー等

によるマナー問題が起きてい

る。これら河川敷の問題

に関する市の対応を問う。

答 カキ殻の放置問題につ

いては、利用者の安全性を

第一に、河川管理者である

国土交通省等と連携を密に

して具体的な対策につき協

議していきたい。妙典河川

敷緑地については、利用者

のマナー向上や利用しやすい

方法を検討していきたい。

### じゅん菜池緑地

#### 流入水の井戸が停止 水質悪化防げ 新井戸の掘削等対策を検討している

清水みな子議員（日本共産党）

じゅん菜池に流入する複数の井戸のうち1基が揚水停止となり、更なる水質悪化が懸念される。市はどの

策として、千葉商科大学

のような対策を講じているか。

また、緑地の駐車・駐輪ス

ペースの確保について、今

後どう対応していくのか。

答 井戸の揚水停止への対

して啓発に努めていきたい。

との包括協定事業「じゅん

さい池プロジェクト」にお

ける助言を参考に、新しい

井戸の掘削の検討等、水質

改善に取り組んでいる。ま

た、駐輪スペースの確保に

ついては今後検討してい

く、駐車場の増設は安全な

場所の確保が困難であるた

め、自転車の利用等につ

いて啓発に努めていきたい。

## 福祉

### 認知症支援

#### 当事者や家族への支援体制は サポーター養成等 医療機関とも連携

久保川隆志議員（公明党）

高齢者の進展と共に認知症高齢者の増加が見込まれ、認知症の人やその家族が安心して暮らせる地域づくり

が求められている。本市に

おける認知症当事者及び家

族への支援体制、特に医療

機関との連携について問う。

答 認知症に関する支援体

制の整備には、まず認知症

を正しく理解することが必

要であり、市は平成18年度

から認知症サポーターの養

成を進めている他、相互理

解の場として市内22団体に

より認知症カフェが運営さ

れている。また、医師会の

認知症専門医と市の専門職

で構成する認知症初期集中

支援チームは、医療機関と

も十分な連携を行っている。

### 特別障害者手当制度

#### 市も積極的周知を 今後の取り組みは 様々な媒体を通じ発信していく

やなぎ美智子議員（日本共産党）

要介護者の経済的負担等を軽減するため、国により特別障害者手当制度が整備されているが、対象者が制

度を知らないため手当を受

給できないケースがある。

市としても積極的に制度の

周知を図るべきと考えるが、

今後の市の取り組みを問う。

答 今後の市の取り組みを問

う。案内も同封することで、一

層の周知を図っていく。

しないよう、これまでに引

き続き市公式Webサイト

や広報紙等において制度の

周知を行うと共に、ケアマ

ネジャー等に対し研修会等

を通じて周知啓発を行って

きた。また、今後は要介護

認定者に介護保険被保険者

証を送付する際に本制度の

## 子ども・教育

### 行徳地区の教育相談体制

#### 新施設としての整備 市の考えは 学びの場提供は市の責務 善処したい

中村よしお議員（公明党）

令和元年度から行徳支所内の一面に教育センター行徳相談室が開設された。その場所については市の既存

施設から検討したとのこと

だが、相談者のプライバシー

確保等を考慮すれば、新

たな施設として整備すべき

と考える。市の見解を問う。

答 市内の教育相談件数の

増や不登校児童生徒の現状

等を踏まえ、行徳地区に適

応指導教室を備えた相談拠

点を整備することは保護者

や児童生徒への支援の充実

に有効と考えている。何ら

かの事情で通学できなくな

った児童にも十分な学び

の機会を提供することが市

の責務であり、新施設の整

備については善処したい。

### 子ども館の休館日

#### 学校代休ある月曜日から変更を 要の中央子ども館につき考慮が必要

つちや正順議員（市民の声）

現在、子ども館の休館日は月曜日であり、学校行事は月曜日だが、学校行事で月曜日が代休の時に子どもたちが利用できないこと

から、休館日の変更を望む

声がある。公共施設のあり

方として、行政側の都合で

はなく、市民ニーズに対応

すべきと考えるが、休館日

の変更について見解を問う。

答 子ども館の休館日は連

携の中核を担う中央子ども

館を基準として一律に設定

している。中央子ども館

は複合施設である生涯学習

センター内にあることから、

子ども館の休館日の変更を

検討するに当たっては、同

センター内の他施設との連

携や施設管理面も考慮する

必要があると考えている。

### 教職員の事務負担

#### 子どもと接する以外の事務の軽減を 提出文書の簡素化等進めていく

かつまた竜大議員（市民の声）

小中学校では、特に中堅以下の教職員を中心に、職員数が必ずしも充足しておらず、子どもと接する時間

以外の事務負担が非常に大

きい状況にあると認識して

いる。教職員の事務負担軽

減に関する市の対応を問う。

答 教職員の事務には、授

業を始めとする事務に加え

て、補助職員の

業務に教職員事務のサポー

トを追加することで、教職

員が授業の準備等をしっかり

行えるよう、事務負担の

軽減を図っていきたい。

### 霊園墓参者への支援

#### 園内循環バス等利用しやすい環境に 他市の例や利用者意見を調査し判断

稲葉健二議員（創生市川）

先般、市営霊園にお墓を持つ複数の利用者から霊園の利用に係る意見を聞いた

口からお墓までの移動は高

齢等にとって大変である

という霊園の利用環境に関

するものがあった。そこで、

他市のように彼岸や盆の時

期限定で循環バスを運行す

る等、本市として墓参者に

対し支援する考えはないか。

答 現在、本市では、墓参

者に対する支援として、園内の移動用に自転車の貸し出しを行っている。今後において、他市の事例を調査・研究すると共に、墓参者の意向も調査した上で、本市としての支援の方法を検討していきたい。